

6年生 子ども議会へ 1/21

麻績村が「子ども議会」を開催して、13年になるとのこと。今でこそ各市町村で開催されることが多くなってきましたが、その歴史にも「子どもは麻績の宝」の精神を感じることができます。

6年生15名は、村議会場の赤い絨毯の上に。そして、これも大切なことだと思うのですが、5年生23名は傍聴席に着き、議会開会を待ちます。

6年生からの質問が、昨年度の「お米づくり」学習から発展した「麻績のはげかけ米を消費しているお寿司屋さん」との交流をとおして学んだことや経験したことに基づいた、具体的で自分たちの生活に根ざした質問であったこと。更には、村長さんからの答弁に「再質問」ができたこと。わたしはこの二つがとてもよかったと思いました。

高野村長様をはじめ各担当課の皆様からの答弁は、子どもたちにも分かりやすく、具体的なデータに裏付けられたもので、ここまでの準備をととても丁寧にしてくださっていると感じました。本

当にありがたいことです。

県の議会場、そして国会の議会場を見学した経験をもつ子どもたちは今回、村の議会場で実際に席に着き、発言し、答弁をお聞きする、という貴重な経験を得ることができました。

＜子ども議会質問通告事項＞

【麻績村 PR 作戦】

- ①ポスターを貼る場所を村で開拓してほしい
- ②学校のパソコン教室に「Wordソフト」を導入してほしい
- ③米作りを更に進めてほしい 更に補助を出すことはできないか

【保小中一貫教育と関連させての特産物作戦】

- ④小中の交流がもっとできるようにバスを気軽に使えるようにならないか
- ⑤地域食材を使った商品を開発したい
中学生が活動している事例があるので、視察に行きたい
- ⑥自分たちが開発した商品をブランド化させよう



村議会議員さんをはじめ、麻績村行政の中枢を担う方々を前にして、緊張感もあったことと思います。しかし、このことは一生の財産であると思います。子どもたちが広く社会を見る目を持ち、麻績村の今と将来を考える力となってくれることに期待しています。

傍聴に駆けつけてくださったお家の皆様方、ありがとうございました。

金管講習会 1月21日

4・5年生を対象に、金管講習会が開催されました。講師の成澤先生から、楽器の扱いや音の出し方の基本についてご指導いただきました。

前半は、マウスピースのみで、息の吹き込みや唇の当て方などを練習しました。「ハチがのどかに飛んでいる音がいいんだよ」「ハエの音だと大きすぎるんだなあ」「唇をこする



ような音にしないでね」実際に演奏している子どもたちであるからこそ、胸に落ちる言葉で教えてくださいました。それにしても、マウスピースのみを使っての繰り返しの練習に熱心に取り組む子どもたち。後半にようやく楽器にマウスピースをセットしての練習になりました。すると、前半の練習の成果が歴然とあらわれ、音の響きが確かに変わったことが感じられました。わたしは、子どもたちの

地道な取り組みと、その粘り強さを尊いと感じました。

一方で隣の部屋では、パーカッションのメンバーが練習をしていました。

こちらでは、5年生が4年生に技術指導をしています。わたしはその姿を目にして、「麻績小金管バンドのよさは、この姿にあらわれているな」と思いました。「これが、本当の力だな」とも思いました。とてもまじめに、そして熱心に練習ができるのです。今日の講習は金管楽器中心だから、などとは考えない。自分たちにできることに時間いっぱい取り組んで、また一步上達しようと思える。こんな姿を目にして、わたしは今後の麻績小金管バンドの演奏の高まりがますます楽しみになりました。



それぞれにとって、とても内容の濃い講習会になったと感じています。